

## 政務活動費活動報告

(1) 研修名

地方議員特別セミナー in 敦賀

(2) 参加者

会派・夢みらい - 夏川 嘉一郎

(3) 日時・場所

平成30年1月18日(木) 13:30~17:00 敦賀駅オルパーク2階

### 【1. 研修目的】

(1) 効果的な会議の進め方

(2) 公・民連携での公共施設適正管理

### 【2. 結果、報告】

(1) 第一部(80分) テーマ:効果的な会議の進め方(講師:山菌 有理)

内容:会議を進める上でのファシリテーターの役割(心得等)について

- ・中立的立場
- ・進行度の見える化
- ・プロセス管理
- ・顔の見える化(5~8人)
- ・場づくり(チームワーク)
- ・成果のMAX引き出す

〔※・ワークショップの実践  
・時間不足のため、駆け足、説明〕

(2) 第二部(100分) テーマ:公民連携での公共施設・適正化管理

(講師:伊藤徳宇(桑名市長))

内容:桑名市の財政赤字克服事業の説明(施策の代表的事例)

- ・広報誌に民間広告取り入れ・・・民間の力、何でも活用
- ・学校敷地内に保育所設置・・・何でも有り。既存の壁、破ろう!
- ・市立病院と民間病院の統合(運営は一部民間委託)
- ・ゴミ処理施設建設・運営 = 設計、建設に止まらず。

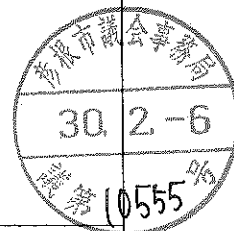
一定期間の運営まで、業者委託(DBO方式)等々

※千葉県佐倉市の場合と政策形態が同じ

### 【3. 考察】

第一部のテーマ「会議の効果的な進め方」では、ファシリテーターの会議推進技法について文章説明とワークショップ実践で解説。中身は概ね良識の範囲内ではあったが、「場づくり」や「進行度の見える化」等、今まで気づかなかった点もあり、それなりに勉強になったと考える。

次に第二部のテーマ「公共施設の適正化管理」事業についてであるが、この種のF



M（ファシリティマネジメント）取組指向は、対象の桑名市のみならず、今や全国地方自治体の多くに波及しつつある。中でも当桑名市は、その取組みに関し、先駆的集団に位置付けられていると推察する。

所で、改めてこの桑名市の取組み事例を見るに、病院やゴミ処理施設場の民営委託化等、民間活用の大規模化が意外な早さで進んでいる事に、気付かされる。

しかし、これら歯止めなき民間活用の先に、果たして市民の幸せがあるのだろうか？急がば回れの諺もある。何れにしても、今一度立ち止まって行政の因って立つ本来的役割（社会正義、市民の幸せ追求等）を再検証し、体制を立て直した上で再度、前へ進んでも決して遅くはないと考えるのである。

以上

報告者：夏川嘉一郎